

フリーズア新品種「石川 f12号・石川 f13号」の育成

1 背景・目的

石川県が育成したフリーズア「エアリーフローラ」シリーズは、他にはない豊富なカラーバリエーションが人気となっている。生花店や市場関係者からは、八重咲、自然な色合いなどの流行を反映した新品種の育成が求められている。

2 技術のポイント

【石川 f12号】

- (1)平成18年4月に「エレガンス」を母親、「オベロン」を父親として交配し、得られた系統から、花色が黄色で草姿に優れる1系統を選抜した。
- (2)草丈は60cm以上で長く、花茎はやや細いが硬い(表1)。
- (3)花弁は中心が薄黄色で縁、裏は濃い赤色である(図1)。

【石川 f13号】

- (1)平成29年4月に「アンコナ」を母親、「石川 f1号」を父親として交配し、得られた系統から、八重咲紫色の1系統を選抜した。
- (2)草丈は60cm以上で長く、花茎は4mm以上と太く硬い(表1)。
- (3)花弁は涼しげな薄紫色である(図2)。

表1 「石川f12号」「石川f13号」の特性

品 種	草丈 (cm)	花茎の太さ (mm)	花序の花数 (個)
石川f12号	62.8	2.9	7.3
石川f13号	63.9	4.1	9.6



図1 「石川 f12号」



図2 「石川 f13号」

3 成果の活用と留意点

- (1)「エアリーフローラ」シリーズのカラーバリエーションが増え、需要の拡大が期待される。
- (2)現在、品種登録出願中(令和5年8月23日受理)